

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 共英製鋼株式会社
 コード番号 5440 URL <http://www.kyoeisteel.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 光廣
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員本社経営企画部長 (氏名) 国丸 洋 TEL 06-6346-5221
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	86,506	21.5	1,654	△68.8	1,411	△73.3	1,006	△67.4
29年3月期第2四半期	71,178	△14.6	5,294	△25.1	5,290	△27.3	3,082	△31.5

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 691百万円 (△46.8%) 29年3月期第2四半期 1,299百万円 (△70.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	23.20	—
29年3月期第2四半期	71.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	221,128	146,527	62.8
29年3月期	214,341	146,662	64.6

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 138,878百万円 29年3月期 138,364百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
30年3月期	—	10.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

30年3月期期末配当金(予想)の内訳：普通配当20円00銭 記念配当10円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	189,000	29.5	5,200	△34.8	4,700	△40.8	3,000	△37.3	69.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	44,898,730株	29年3月期	44,898,730株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,521,786株	29年3月期	1,551,786株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	43,359,192株	29年3月期2Q	43,304,001株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調で推移する中、北朝鮮情勢など地政学リスクの高まりにより、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主要需要先である国内建設用鋼材市場では、建築・土木分野ともに一部には需要回復の兆しが見られるものの、本格的な盛り上がりには至りませんでした。また、原材料である鉄スクラップの価格が、中国鋼材需要の影響を受け7月以降急騰したことから、利益の源泉となる売買価格差（製品価格と原材料価格の差額）は縮小しました。海外鉄鋼事業については、ベトナムにおいて原材料である半製品の価格が高値圏で推移したことから、売買価格差が大幅に縮小しました。なお、当第2四半期連結累計期間より、昨年12月に買収した米国のビントン・スチール社（VS社）の損益を連結決算に加えております。

これらの結果、当社グループの連結売上高は前年同期対比15,329百万円（21.5%）増収の86,506百万円となりました。連結営業利益は前年同期対比3,640百万円（68.8%）減益の1,654百万円、連結経常利益は同3,878百万円（73.3%）減益の1,411百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同2,076百万円（67.4%）減益の1,006百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 国内鉄鋼事業

当事業部門については、製品出荷量は前年同期対比1.4万トン増の82.5万トンとなりました。製品価格は前年同期対比トン当たり6.3千円（12.7%）上昇したものの、鉄スクラップ価格は同7.4千円（35.4%）上昇したため、売買価格差は1.1千円（4.0%）縮小しました。さらに、エネルギー費や副資材等の価格上昇により製造コストが増加しました。

以上の結果、売上高は前年同期対比6,184百万円（13.9%）増収の50,630百万円、営業利益は同1,643百万円（41.7%）減益の2,297百万円となりました。

② 海外鉄鋼事業

当事業部門は、ベトナムと米国にて鉄鋼事業を展開しております。

ベトナムでは、同国の経済成長を背景に、鋼材需要は引き続き堅調な伸びを示しておりますが、当第2四半期（平成29年1～6月）は、セーフガードや中国鋼材需要の影響により半製品価格が高値圏で推移したことから売買価格差が縮小し、損失を計上しました。米国では、VS社がほぼ計画通りの拡販とコスト削減を進め、利益を計上しました。

以上の結果、売上高は前年同期対比9,410百万円（40.3%）増収の32,736百万円、営業利益は同1,601百万円減少し、125百万円の損失となりました。

③ 環境リサイクル事業

当事業部門については、高単価な処理困難物案件の獲得に取り組みましたが、競合環境が厳しさを増しており、売上高は前年同期対比282百万円（8.6%）減収の2,988百万円、営業利益は同228百万円（44.9%）減益の280百万円となりました。

④ その他の事業

子会社を通じて土木資材の販売および保険代理店業等を行っており、売上高は前年同期対比16百万円（11.7%）増収の152百万円となり、営業利益は同1百万円増益（7.7%）の12百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8,294百万円（7.1%）増加し、124,344百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が10,799百万円、商品及び製品が4,238百万円増加し、現金及び預金が3,973百万円、有価証券が3,000百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,507百万円（1.5%）減少し、96,784百万円となりました。これは、機械装置及び運搬具が1,919百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6,787百万円（3.2%）増加し、221,128百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8,686百万円（17.4%）増加し、58,720百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が4,995百万円、短期借入金が4,496百万円増加し、流動負債その他が704百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,763百万円（10.0%）減少し、15,881百万円となりました。これは、長期借入金1,949百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6,923百万円（10.2%）増加し、74,601百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて136百万円（0.1%）減少し、146,527百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益1,006百万円、剰余金の配当869百万円、為替換算調整勘定が348百万円減少したこと等によります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.6%から、62.8%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて20,809百万円減少し、15,930百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、6,104百万円の支出となりました。収支の主な内訳は、仕入債務の増加額5,077百万円、減価償却費3,292百万円、税金等調整前四半期純利益1,075百万円、売上債権の増加額10,891百万円、たな卸資産の増加額4,574百万円等によります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、17,694百万円の支出となりました。収支の主な内訳は、定期預金の預入による支出16,411百万円、有形固定資産の取得による支出3,620百万円、有価証券の取得による支出3,000百万円、有価証券の売却による収入5,000百万円等によります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,096百万円の収入となりました。収支の主な内訳は、短期借入金の純増額5,478百万円、長期借入金の返済による支出1,535百万円、配当金の支払額870百万円等によります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結会計期間以降（下期）におきましては、国内鉄鋼事業については、鉄スクラップ価格は高値圏で推移し、引き続き厳しい事業環境が継続する見通しです。加えて、副資材等の価格上昇により製造コストの増加も予想され、利益面では当初計画を下回る見通しです。一方、海外鉄鋼事業については、ベトナムの鋼材需要が堅調に推移する中、製品価格の値上げも進む見通しであることから、利益面では当初計画を上回る見通しです。

このような情勢を踏まえ、平成29年7月31日の「平成30年3月期 第1四半期決算短信」で公表しました通期の業績予想を変更いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,446	35,474
受取手形及び売掛金	35,584	46,383
有価証券	8,400	5,400
商品及び製品	15,573	19,811
原材料及び貯蔵品	13,652	13,493
その他	3,509	3,899
貸倒引当金	△115	△116
流動資産合計	116,050	124,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,167	17,527
機械装置及び運搬具（純額）	37,341	35,422
土地	23,993	23,963
その他（純額）	1,398	1,628
有形固定資産合計	80,900	78,541
無形固定資産	1,989	1,866
投資その他の資産		
投資有価証券	11,116	12,072
その他	4,349	4,369
貸倒引当金	△64	△64
投資その他の資産合計	15,401	16,378
固定資産合計	98,291	96,784
資産合計	214,341	221,128

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,967	16,962
短期借入金	24,388	28,885
1年内返済予定の長期借入金	3,041	2,950
未払法人税等	949	736
賞与引当金	701	968
役員賞与引当金	110	46
その他	8,877	8,173
流動負債合計	50,034	58,720
固定負債		
長期借入金	13,427	11,478
繰延税金負債	920	1,256
再評価に係る繰延税金負債	2,433	2,433
役員退職慰労引当金	9	10
退職給付に係る負債	76	62
その他	779	642
固定負債合計	17,644	15,881
負債合計	67,678	74,601
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	21,493	21,493
利益剰余金	91,730	91,866
自己株式	△1,915	△1,858
株主資本合計	129,823	130,017
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,952	2,603
繰延ヘッジ損益	40	15
土地再評価差額金	4,618	4,618
為替換算調整勘定	1,930	1,582
退職給付に係る調整累計額	2	44
その他の包括利益累計額合計	8,542	8,861
非支配株主持分	8,298	7,649
純資産合計	146,662	146,527
負債純資産合計	214,341	221,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	71,178	86,506
売上原価	60,759	78,780
売上総利益	10,419	7,726
販売費及び一般管理費	5,125	6,071
営業利益	5,294	1,654
営業外収益		
受取利息	101	126
受取配当金	110	130
持分法による投資利益	109	39
為替差益	—	9
その他	109	137
営業外収益合計	430	441
営業外費用		
支払利息	346	639
為替差損	40	—
その他	48	44
営業外費用合計	435	684
経常利益	5,290	1,411
特別利益		
固定資産除売却益	117	6
関係会社出資金売却益	—	7
特別利益合計	117	13
特別損失		
固定資産除売却損	336	164
事業整理損	94	—
事故関連損失	—	165
その他	22	21
特別損失合計	452	350
税金等調整前四半期純利益	4,955	1,075
法人税等	1,369	382
四半期純利益	3,585	692
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	503	△314
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,082	1,006

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	3,585	692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△167	651
繰延ヘッジ損益	—	△55
為替換算調整勘定	△2,161	△638
退職給付に係る調整額	42	41
その他の包括利益合計	△2,286	△1
四半期包括利益	1,299	691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,891	1,325
非支配株主に係る四半期包括利益	△592	△634

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,955	1,075
減価償却費	2,514	3,292
のれん償却額	—	68
引当金の増減額(△は減少)	133	208
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4	△13
持分法による投資損益(△は益)	△109	△39
固定資産除売却損益(△は益)	219	158
受取利息及び受取配当金	△212	△256
支払利息	346	639
売上債権の増減額(△は増加)	1,526	△10,891
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,104	△4,574
仕入債務の増減額(△は減少)	635	5,077
未払消費税等の増減額(△は減少)	△564	211
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	33	43
その他	△362	23
小計	8,016	△4,980
利息及び配当金の受取額	297	276
利息の支払額	△335	△596
法人税等の支払額	△2,113	△805
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,865	△6,104
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,076	△16,411
定期預金の払戻による収入	365	341
有価証券の取得による支出	△975	△3,000
有価証券の売却による収入	—	5,000
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
子会社株式の取得による支出	△110	—
子会社出資金の取得による支出	△252	—
子会社出資金の売却による収入	—	107
預け金の預入による支出	△0	△25
預け金の払戻による収入	1	27
貸付けによる支出	△25	△5
貸付金の回収による収入	139	16
有形固定資産の取得による支出	△2,907	△3,620
有形固定資産の売却による収入	182	17
無形固定資産の取得による支出	△57	△47
その他	△143	△93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,860	△17,694
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	911	5,478
長期借入金の返済による支出	△1,040	△1,535
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の処分による収入	64	58
配当金の支払額	△1,521	△870
非支配株主への配当金の支払額	△30	△15
その他	△3	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,619	3,096
現金及び現金同等物に係る換算差額	△766	△107
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,379	△20,809
現金及び現金同等物の期首残高	39,596	36,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,217	15,930

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内鉄鋼事業	海外鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	44,446	23,326	3,270	71,042	136	-	71,178
セグメント間の内部売上高又は振替高	101	-	779	881	-	△881	-
計	44,547	23,326	4,050	71,923	136	△881	71,178
セグメント利益	3,940	1,476	508	5,924	11	△641	5,294

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、土木資材販売業・保険代理店業等であります。
- 2 「セグメント利益」の調整額△641百万円には、セグメント間取引消去△9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△632百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
- 3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内鉄鋼事業	海外鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	50,630	32,736	2,988	86,355	152	-	86,506
セグメント間の内部売上高又は振替高	79	-	469	548	-	△548	-
計	50,709	32,736	3,457	86,902	152	△548	86,506
セグメント利益又は損失(△)	2,297	△125	280	2,452	12	△809	1,654

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、土木資材販売業・保険代理店業等であります。
- 2 「セグメント利益」の調整額△809百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△818百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
- 3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

海外鉄鋼事業セグメントにおいて、前連結会計年度に連結子会社米国共英製鋼会社を通じてビントン・スチール社及び同子会社1社の持分を100%取得したことに伴い、暫定的に算定されたのれん375百万円を計上していましたが、第1四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了したことから、705百万円に変動しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。